

Nara National Museum

奈良国立博物館

だより

第**93**号

平成27年 4・5・6月



土偶（山形県遊佐町杉沢遺跡出土）当館

まぼろしの久能寺経に出会う

平安古経展

4月7日(火)～5月17日(日)
東・西新館

特別展

開館120年記念特別展

白鳳

—花ひらく仏教美術—
7月18日(土)～
9月23日(水・祝)
東・西新館

特別展

特別陳列

名匠三代

—木内喜八・半古・省古
の木工芸—
6月2日(火)～28日(日)
西新館

珠玉の仏教美術

～6月28日(日)
西新館

中国古代青銅器

通期開催・青銅器館

名品展

- 蓮台形舍利容器 当館
- 火焰宝珠形舍利容器 当館
- 火焰宝珠形舍利容器 個人蔵
- 宝篋印塔 当館
- 舍利厨子 施福寺
- 舍利厨子 性海寺
- 首懸駄都種子曼荼羅厨子 当館
- 密観宝珠嵌装舍利厨子 当館
- 百万塔 個人蔵
- 百万塔 個人蔵
- 三重小塔 当館
- ◎宝相華唐草文透彫経筒 万徳寺
- 経筒 施福寺
- ◎蓮池時絵経筒 文化庁
- ◎大般若経厨子 当館
- ◎牛皮華鬘(登号・呂号) 当館
- ◎刺繍三昧耶幡 当館
- 彩絵厨子 個人蔵
- 刺繍法然上人絵伝 一心寺
- 三鉢杵 当館
- 三鉢杵 松尾寺
- 五鉢杵 施福寺
- 鬼面五鉢杵 個人蔵
- 鬼面五鉢杵 長谷寺
- 種子五鉢杵 当館
- 種子五鉢杵 当館
- ◎五鉢三昧耶鈴 金峯山寺
- 五鉢三昧耶鈴 長谷寺
- 九頭龍鈴 長谷寺
- ◎5月26日(火)～6月28日(日)◎
- 二月堂食堂机模造 当館
- 唐草文瓶掛 北村久齋作 当館
- 蒔絵螺鈿乱箱 北村大通作 当館
- 玳瑁螺鈿花形盤 北村昭齋作 当館
- 俱利伽羅龍時絵経箱復元模造 北村昭齋作 当館

- 黒柿両面厨子模造 竹内碧外作 当館
- 紫檀金銀絵書几模造 坂本曲齋(二代)作 当館
- 子日利箆模造 森川杜園作 当館
- 子日手辛鋤模造 森川杜園作 当館
- ◎十一面観音懸仏 長谷寺
- 十一面観音懸仏 当館
- 五尊懸仏 当館
- ◎熊野十二社権現御正体 当館
- ◎熊野十二社権現御正体 細見美術財団
- 布薩形水瓶 当館
- 華籠 性海寺
- 牡丹尾長鳥文盆 金地院
- ◎香盆 聖衆来迎寺
- 金山寺形香炉 長谷寺
- 刺繍阿弥陀如来像 個人蔵
- 刺繍釈迦阿弥陀二尊像 当館
- 刺繍阿弥陀三尊来迎図 中宮寺
- 三鉢杵 当館
- 三鉢杵 松尾寺
- 五鉢杵 施福寺
- 鬼面五鉢杵 個人蔵
- 鬼面五鉢杵 長谷寺
- 種子五鉢杵 当館
- 種子五鉢杵 当館
- ◎五鉢三昧耶鈴 金峯山寺
- 五鉢三昧耶鈴 長谷寺
- 九頭龍鈴 長谷寺
- 【考古】
- 土偶(山形県杉沢遺跡出土) 当館
- 注口土器ほか(小野コレクション)
- 〔青森・岩手県出土〕当館
- 銅鐸(奈良県山町出土) 当館
- 銅鐸(静岡県浜松市釣荒神山出土) 当館
- 内行花文鏡(奈良県鸞塚古墳出土) 当館

- ◎銅鏡(奈良県天神山古墳出土) 当館
- 双鳳文杏葉・忍冬唐草文鏡板
- 〔奈良県珠城山3号墳出土〕 当館
- ◎4月21日～6月28日◎
- 裝飾付子持台付壺 当館
- 軒丸瓦(横井廃寺出土) 当館
- 軒丸瓦(奈良県山田寺跡出土) 当館
- 軒丸瓦(奈良県川原寺出土) 当館
- 軒丸瓦・軒平瓦(奈良県山村廃寺出土) 当館
- 隅木蓋瓦(和歌山県上野廃寺出土) 当館
- 鬼身文鬼瓦(奈良県薬師寺出土)
- 京都国立博物館
- ◎5月26日～6月28日◎
- 鬼面文鬼瓦(奈良県中山町出土) 当館
- ◎5月26日～6月28日◎
- ◎山城忌寸真作墓誌 当館
- 行基舍利瓶残欠 当館
- ◎佐井寺僧道業墓出土品(墓誌・骨壺) 当館
- *須恵器骨蔵器・外容器・鉄板(奈良県五條市出屋敷遺跡出土) 五條市教育委員会
- ◎3月17日～5月24日◎
- ◎青磁牡丹唐草文深鉢
- 〔奈良県正暦寺出土〕 正暦寺
- ◎銅製宝塔形経筒(永久四年銘)・銅製如来像(福岡県出土) 当館
- 滑石製宝塔形経筒 当館
- 泥塔経 当館
- ◎粟原寺伏鉢 談山神社
- 瓦塔(静岡県浜松市旧三ヶ日町)出土 当館
- ◎元興寺塔址土壇出土品 元興寺
- *は考古資料相互活用促進事業による出品
- ※◎Ⅱ国宝、◎Ⅱ重要文化財

名品展

中国古代青銅器

(坂本コレクション) 青銅器館

中国古代の商(殷)から漢代に製作された、青銅器の逸品を展示しています。爵、觚、觶、罍、長頸尊、觚形尊、罍、方彝、卣、甗、鼎、鬲、高、簋、盃、豆、盤、匱、盥、壺、鐘、鈞、扁壺、蒜頭壺、竈、鏡、博山炉、鎮子、鏡、鍔子など(すべて当館)



甗(当館)

【表紙写真解説】

土 偶

土製 高一・八・三cm
山形県遊佐町杉沢遺跡出土
縄文時代晩期(紀元前千年～前三百年頃)
東北地方で発達した遮光器土偶(ゴージュル)を付けたような特徴的な顔の土偶)の一種。胴内は中空に作られ、へそ孔は内部に通じている。肩や腰には縄文

とヘラで「工」字を連続させた文様を付けている。乳房や大きな腰の作りから、女性の姿を表わしたものと分かる。土偶は一般的には破片で出土するが、本品は昭和二十七年に石囲いの中に寝かせた状態で発見された。土偶信仰を考える上で貴重な資料である。

吉澤 悟 当館学芸部情報サービス室長

仏像写真展

❖大和の仏たち❖

-奈良博写真技師の眼-
～平成28年3月31日(木)
当館地下回廊にて 無料

博物館事業の一環として行われている文化財の撮影。今回の写真展では、その中から大和とその周辺地域に伝わった仏たちを、大型のパネルでご紹介いたします。写真で感じる仏像の魅力と、文化財写真撮影という博物館事業の意義をご理解いただく機会となれば幸いです。大迫力の仏たちに囲まれる至福の時。無料ゾーンですので何度でも足をお運びいただけます。



重要文化財 広目天立像 奈良・興福寺蔵
大迫力の大型写真パネル(縦2m×横1.5m)で展示しています。